平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年８月８日

上 場 会 社 名	株式会社リミックスポイント	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3825	URL	http://www.remixpoint.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)髙田　真吾	
問合せ先責任者	(役職名)経営管理部長	(氏名)佐藤　仁美	(TEL)03(6206)2220
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	20	△68.1	△16	―	△24	―	△19	―
25年３月期第１四半期	63	―	△4	―	△5	―	△6	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第１四半期	△397.78	―
25年３月期第１四半期	△125.30	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	157	45	28.9
25年３月期	191	63	33.3

（参考）　自己資本　　26年３月期第１四半期　　45百万円　　25年３月期　　63百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	0 00	―	0 00	0 00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		0 00	―	0 00	0 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	59	△54.3	△20	―	△23	―	△25	―	△522 67
通期	163	△38.0	8	44.1	4	9.5	2	31.6	43 60

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	48,191株	25年３月期	48,191株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	120株	25年３月期	120株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	48,071株	25年３月期１Ｑ	48,071株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P２「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……3
４．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 ……7
（継続企業の前提に関する注記） ……7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……7
（重要な後発事象） ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、円安の動きにより輸出が持ち直し、株価の上昇など経済環境の変化により国内消費も緩やかではありますが、回復の兆しが見えつつあります。

このような状況のもと、当第１四半期累計期間において当社は、新規顧客の開拓に努め、引き続き経費削減を続けてまいりました。

その結果、当第１四半期累計期間は、売上高20百万円（前年同四半期比68.1％減）、営業損失16百万円（前年同四半期は営業損失４百万円）、経常損失は24百万円（前年同四半期は経常損失５百万円）、四半期純損失19百万円（前年同四半期は四半期純損失６百万円）となりました。

当第１四半期累計期間の売上高が前年同期に比べ大きく減少しております。これは主要取引先との契約が平成25年３月31日で満了となり、前年同期においては主要取引先の売上比率が大きかったことによるものです。今後の見通しは、第２四半期以降、受託開発案件の受注やIESの新規取引先を確保し売上を確保してまいる予定です。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末における資産合計は、157百万円となり、前事業年度末（191百万円）に比べ、34百万円減少となりました。その主な要因は、現金及び預金44百万円の減少と売掛金12百万円、貸倒引当金８百万円、短期貸付金６百万円の増加等によるものです。

負債合計は111百万円となり、前事業年度末（127百万円）に比べ、16百万円減少となりました。その主な要因は、未払費用５百万円、未払法人税等３百万円、預り金２百万円、長期借入金２百万円の減少と未払金２百万円の増加等によるもです。

なお、純資産は、45百万円となり、前事業年度末（63百万円）に比べ、18百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上19百万円による利益剰余金19百万円の減少があったこと等によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期累計期間につきましては、平成25年５月10日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移しており、第２四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度において、当期純利益が計上されたものの、主要な取引先を喪失し、継続的かつ安定的な利益の計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、事業面におきましては、業務用中古車査定アプリケーション「IES（Inspection Expert System)」の製品ラインナップの拡充と販路の拡充に取り組むと共に、中古車査定に関する受託開発案権の獲得、「IES（Inspection Expert System)」を活用した新たなビジネスモデルの事業化、ならびに中古車査定以外の分野における開発案件の獲得などに努めてまいります。

財務面におきましては、新たな資金調達を実施し、キャッシュ・フローを改善してまいります。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,468	49,492
売掛金	8,959	21,000
貯蔵品	72	72
前払費用	5,528	9,266
立替金	－	2,146
短期貸付金	5,000	11,000
未収入金	1,127	525
その他	－	113
貸倒引当金	△104	△244
流動資産合計	115,051	93,370
固定資産		
有形固定資産	6,812	5,591
無形固定資産		
ソフトウエア	41,166	46,933
ソフトウエア仮勘定	14,570	7,000
無形固定資産合計	55,736	53,934
投資その他の資産		
投資有価証券	1,243	100
出資金	50	50
長期前払費用	－	143
敷金及び保証金	4,246	3,934
固定化営業債権	0	0
固定化債権	86,525	86,025
貸倒引当金	△78,025	△86,025
投資その他の資産合計	14,040	4,227
固定資産合計	76,589	63,753
資産合計	191,640	157,124
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,037	1,037
短期借入金	54,162	51,660
1年内返済予定の長期借入金	10,068	10,068
未払金	1,212	3,759
未払費用	9,896	4,312
未払法人税等	4,613	1,132
未払消費税等	2,345	234
預り金	4,220	1,339
その他	1,634	2,442
流動負債合計	89,191	75,986

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
固定負債		
長期借入金	36,576	34,059
その他	2,031	1,601
固定負債合計	38,607	35,660
負債合計	127,798	111,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,663	934,663
資本剰余金	854,663	854,663
利益剰余金	△1,706,728	△1,725,850
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	64,598	45,477
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△756	－
評価・換算差額等合計	△756	－
純資産合計	63,841	45,477
負債純資産合計	191,640	157,124

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	63,084	20,108
売上原価	31,084	6,391
売上総利益	31,999	13,716
販売費及び一般管理費	36,958	29,938
営業損失（△）	△4,958	△16,221
営業外収益		
受取利息	274	111
受取配当金	20	12
その他	0	82
営業外収益合計	294	206
営業外費用		
支払利息	515	929
貸倒引当金繰入額	233	8,000
営業外費用合計	749	8,929
経常損失（△）	△5,413	△24,943
特別利益		
投資有価証券売却益	－	6,736
特別利益合計	－	6,736
特別損失		
固定資産除却損	－	676
特別損失合計	－	676
税引前四半期純損失（△）	△5,413	△18,884
法人税、住民税及び事業税	610	237
法人税等合計	610	237
四半期純損失（△）	△6,023	△19,121

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当社は前事業年度において、当期純利益が計上されたものの、主要な取引先を喪失し、継続的かつ安定的な利益の計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、事業面におきましては、業務用中古車査定アプリケーション「IES（Inspection Expert System)」の製品ラインナップの拡充と販路の拡充に取り組むと共に、中古車査定に関する受託開発案権の獲得、「IES（Inspection Expert System)」を活用した新たなビジネスモデルの事業化、ならびに中古車査定以外の分野における開発案件の獲得などに努めてまいります。

財務面におきましては、新たな資金調達を実施し、キャッシュ・フローを改善してまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表に反映しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。